

株式会社 ウジエスーパー (登米市)



- ◆ 設 立 1982年
- ◆ 代 表 者 代表取締役社長 氏家 良典
- ◆ 事業内容 スーパーマーケット運営
- ◆ 障害のある方の雇用状況
 - ・身体障害者 20名
 - ・知的障害者 13名
 - ・精神障害者 3名
- ◆ ホームページ : <http://www.ujiesuper.com/>



試食用オレンジのカット

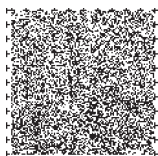
〈店舗と特例子会社の両輪で 障害者雇用を推進〉

ウジエスーパーでは、平成18年に特例子会社ウジエクリーンサービスを設立し、障害者雇用に本格的に取り組み始めました。従来は外部委託してきた店舗の窓清掃を、ウジエクリーンサービスの障害者が担い、実際に働く姿を見てもらうことで、各店舗の職員の障害者雇用に対する理解も進みました。その結果、各店舗においても積極的な障害者雇用に繋がりました。

店舗での障害者雇用に関する権限は店長に一任されていますが、障害者雇用についての悩み事ができた場合は、特例子会社に所属する職場適応援助者(ジョブコーチ)に相談できる体制が整えられており、安心して取り組めるフォロー体制ができています。

〈環境と障害者雇用で 社会的責任を果たす〉

吉田常務は、ウジエスーパーがスーパーマーケット事業者として果たすべき社会的責任を突き詰めて考えた結果、環境と障害者雇用の2本柱が大切だと気付いた、とお話しします。その考えを実施する仕組みが「エコガニック」です。これは、店舗から排出された食品残渣を回収し、肥料としてリサイクルし、農作物を育て、店舗で商品として販売するという大きなサイクルで、ウジエクリーンサービスに勤める障害者が、これを実際に進める役割を担っています。



毎日、パッカー車を障害者自身が運転し、各店舗を廻って食品残渣を回収しています。免許を取得することで、できる仕事の幅が広がったことが、やりがいに繋がっています。



回収した食品残渣から肥料化できないシールを分別